

事業番号	183
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	生と性育み推進事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	保健センター							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	母子保健係							
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		6 健康づくり		2 親子が健やかに育み合うことを支援します									
		副目的														
	予算区分	款	4		項	1		目	4		大	3		中	5	
	根拠法令・個別計画															
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	親と子及び地域の人々に生と性に関するカリキュラムを用いた健康教育を実施し、いのちと生き方を大切に、自分も相手も大切にできる人となるようにする。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生と性のカリキュラム推進 妊娠届出時に小牧市独自の親子健康手帳交付し、親も子も自己肯定感を持つことの大切さについて、健康教育を実施。 また、4か月児健康診査において自己肯定感についての健康教育を行い、あわせて肯定感獲得DVDを配布。 学校をはじめとする関係機関とも連携し、生と性に関するカリキュラムを推進。 また地域にむけて、出前講座「育もう自己肯定感」を実施。 <p>◆25年度直接経費の内訳 講師等謝礼(196千円) その他印刷製本費等(1,133千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 講師等謝礼(371千円) その他印刷製本費等(1,724千円)</p>														
	受益者負担	無														

			単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	1,482	1,407	1,329
正職員			従事者数	人	1.30	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	6,838	5,260	5,260	5,260
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	8,320	6,667	6,589	7,355		
対前年比		%		80.1	98.8	111.6		
財源	一般財源		千円	8,110	6,667	6,589	7,355	
	国・県支出金		千円	210	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	親子健康手帳交付時健康教育実施率 (健康教育数/交付者数)	%	目標	90	90	90
実績				93	90	92.7	
生と性に関する健康教育実施回数		回	目標	70	70	73	73
			実績	76	62	72	
自己肯定感獲得DVD配布数		枚	目標	600	600	600	600
			実績	1,029	923	986	
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
生と性に関する健康教育受講人数	人	目標	3,500	3,500	3,500	4,500	
		実績	3,512	2,973	4,567		
親子健康手帳交付時健康教育実施率 (健康教育数/交付者数)	%	目標	90	90	90	90	
		実績	93	90	92.7		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	活動指標と成果指標である親子健康手帳交付時の健康教育の実施率は、目標の90%以上を達成した。生と性に関する健康教育のうち、学校と協働した実施は、小牧市内の小学2年生と中学3年生にあわせて23回実施した。自己肯定感DVDの配布枚数は、986枚と目標の600枚(第1子想定数)を達成した。				
		事業実施における課題	今後も学校や地域と積極的に連携し、心豊かにいきいきと生き親子が共に育み合うことができるように支援していく。特に学校と連携した生と性のカリキュラム推進については、今後も連携を密にし、継続的に実施していけるようにしていく。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	心豊かにいきいきと生き、親子が共に育み合うことができるようにする支援である「生と性の育み推進事業」は、人として生きていくための内面的、質的な部分を支えていくものであり、廃止・休止した場合、現在のところ保健センターにかわって、地域全体に積極的に推進していく機関がなくなる。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	生と性のカリキュラム小学校・中学校版を小牧市学校保健教育研究会が中心となって改訂版を作成し(平成25年3月完成)、教育媒体を見直し、より子どもたちに伝わりやすく工夫した。今後も、新カリキュラムにて各小中学校ともに実施していく。また、保護者に対しての取り組みとして、学校公開日に開催したり、保健だより等で周知を図り、家庭とも積極的に連携して実施していく。保健センターは、小牧市内の小学校(2年生)と中学校(3年生)において、引き続き学校と協働して性教育を実施していく。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	目標どおり達成することができた。 引き続き事業を実施することにより継続的に効果を発揮するため。					
	27年度以降の改善案	学校との連携を密にし、事業を継続的・安定的に実施していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。